

## 早通児童センターの雨漏りに関するご意見と今後の対応について

### 【第1回ワークショップでいただいたご意見】

- 児童センターの雨漏りについて早急に解決策を検討して欲しい。

### 【回答】

児童センターの雨漏りについて、2月のワークショップ（準備会）でもご説明したとおり、これまで雨漏りが発生した箇所については、その都度応急修繕を行ってきました。

しかし、新たに見つかった雨漏り箇所（集会室の中心部）について、3月に業者が現地確認を行い、屋根全体や外壁全体の劣化が激しく、大規模改修が必要な状況とのことでした。

その後、8月の第1回ワークショップにおいてさまざまなご意見をいただき、別業者とともに再度現地確認（別紙詳細）を行いました。前回業者と同じく「大規模改修をしないと改善できない」とのことでした。

また、その際に、天井材（断熱材）が雨水を吸水し、加重により天井が落下する危険性や漏電による火災のリスクも考えられ、安全性に不安があるとの指摘を新たに受けました。

その結果を受け、集会室及び図書室について、今後も子どもたちの安全を確保し運営を続けていくことは困難であると判断し、降雪や融雪による継続的な浸水により雨漏りのリスクが高まる12月より使用禁止とします。（体育館はこれまでどおり使用可）。

なお、これまで集会室と図書室で行っていた活動は、代替施設として同敷地内にある「いするぎ荘」を活用しながら運営を継続し、今後も同様に子どもたちの居場所を提供していきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

※利用者への説明や運用方法の周知は別途行います。

※コミュニティセンター事務室の雨漏りは、業者と現地を確認し工事に向けて準備を進めています。

【集会室及び図書室天井】

R6.10.18撮影



①図書室天井



②集会室天井



③集会室天井雨漏り受け



④集会室雨漏り受け



⑤集会室灯具雨漏り

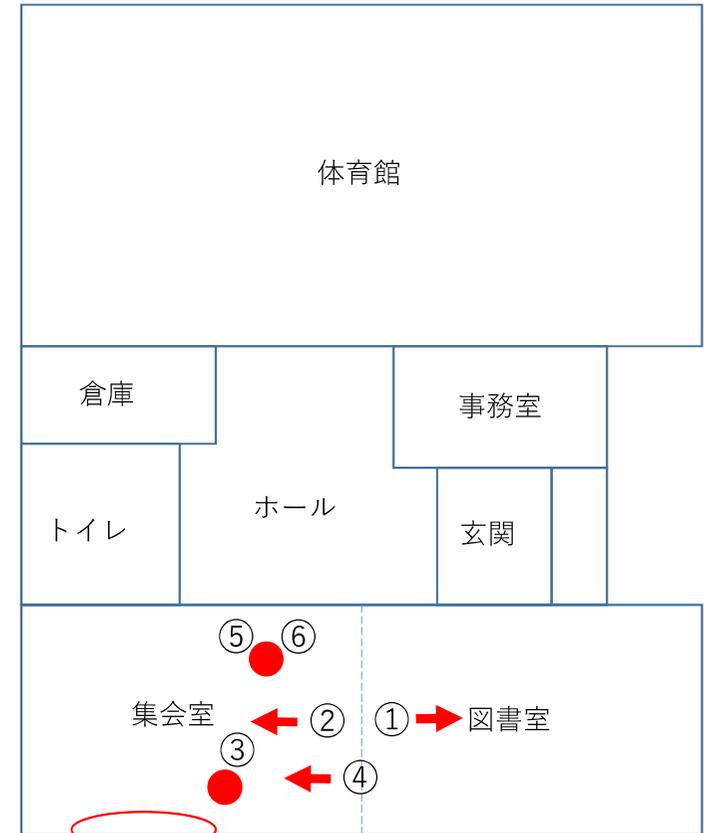


⑥集会室灯具雨漏り

<現地確認>

R6.10.18 財産活用課・専門業者・北区健康福祉課及び早通児童センター職員で、現状の雨漏りの状況及び屋上や外壁、内部の現地確認を実施。

【早通児童センター平面図】



R6.3.23サッシ修繕

※番号は撮影箇所・方向

<早通児童センターより聴取>

- ・③④部分：R5.12～R6.3.16に雨漏りあったが今は止まっている。
- ・⑤⑥部分：10月上旬に灯具部分から雨漏り発生。  
(R6.10集中豪雨の日の午前半日程度)
- ・集会室のサッシ周りを修繕、その後同箇所は雨漏りなし。
- ・体育館も雨漏りしていた時期もあったが、修繕後雨漏りなし。

【集会室及び図書室天井】

R6.10.18撮影 <専門業者及び財産活用課より>



屋上（平面）



屋上（平面防水層メッシュシート露出状況）



屋上（立ち上がり部分）※補修箇所あり



外壁（塗膜の膨れ）

雨漏りについて

- ・屋上防水は劣化が激しく防水層が剥げて機能を果たしていない。
- ・外壁にはひび割れや塗材の膨れが多数あり。
- ・屋上、外壁が全体的に劣化しているため、雨水の侵入箇所は特定できない。よって応急的に手を加えても雨漏りが止まるとは思えない。

天井について

- ・天井のあちこちに雨漏れの跡のような茶色いシミあり。
- ・天井裏の断熱材が雨水を吸っており、その吸水の限界がくると雨水がにじみ出て、雨漏りをしているのでは。

施設の安全性について

- ・雨水を多く含んでいる断熱材（厚5cm）は重く、天井材の石膏ボードも水に弱い性質。また、吊り天井であり、雨水の加重は考慮されていないことから、天井が重みにいつまで耐えられるか不明。
- ・灯具部分からも雨漏りがあるなら、漏電（火災）の心配あり。
- ・幼児・児童の過ごす施設として安全性に不安がある。



<北区健康福祉課の見解>

- ・業者等の助言より、施設の安全性が担保できない状況であり、最悪の場合、子どもたちの生命にかかわるため、集会室および図書室の継続利用は困難。
- ・特に冬季の天候時（融雪時など）に、これまで雨漏りの状況が悪化しているため、降雪前にすみやかに対策を行う必要がある。



集会室天井裏 ※この写真のみR4.11.29撮影